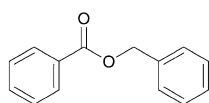


安息香酸ベンジル

Benzyl Benzoate

C₁₄H₁₂O₂ : 212.24

Benzyl benzoate [I20-51-4]

本品は定量するとき、安息香酸ベンジル (C₁₄H₁₂O₂) 99.0 % 以上を含む。

性状 本品は無色澄明の粘稠性のある液で、わずかに芳香があり、刺激性でやくような味がある。

本品はエタノール (95) 又はジエチルエーテルと混和する。

本品は水にほとんど溶けない。

凝固点 : 約 17 °C

比重 d₂₀²⁰ : 約 1.123

沸点 : 約 323 °C

確認試験

(1) 本品 1 mL に炭酸ナトリウム試液 5 mL 及び過マンガン酸カリウム試液 2 mL を加え、穏やかに加熱するとき、ベンズアルデヒドのにおいを発する。

(2) 定量法で滴定の終わった液を水浴上で加温してエタノールを蒸発し、塩化鉄 (III) 試液 0.5 mL を加えるとき、淡黄赤色の沈殿を生じ、この沈殿は希塩酸を加えるとき、白色に変わる。

屈折率 n_D²⁰ : 1.568 ~ 1.570

純度試験 酸 本品 5.0 mL を中和エタノール 25 mL に溶かし、0.1 mol/L 水酸化ナトリウム液 0.50 mL を加えるとき、液は赤色を呈する。

強熱残分 0.05 % 以下 (2 g)。

定量法 本品約 2 g を精密に量り、正確に 0.5 mol/L 水酸化カリウム・エタノール液 50 mL を加え、二酸化炭素吸収管 (ソーダ石灰) を付けた還流冷却器を用いて 1 時間穏やかに煮沸し、冷後、過量の水酸化カリウムを 0.5 mol/L 塩酸で滴定する (指示薬 : フェノールフタレイン試液 2 滴)。同様の方法で空試験を行う。

0.5 mol/L 水酸化カリウム・エタノール液 1 mL
= 106.12 mg C₁₄H₁₂O₂

貯法

保存条件 遮光して保存する。

容器 気密容器。

アンソッコウ

Benzoin

BENZOINUM

安息香

本品は *Styrax benzoin* Dryander 又はその他同属植物 (*Styracaceae*) から得た樹脂である。

性状 本品は灰褐色～暗赤褐色の不整の塊片で、破砕面には実質中に類白色～淡黄赤色の粒がある。常温では堅くてもろく、熱すれば軟化する。

本品は特異な芳香があり、味はわずかに辛くてえぐい。

確認試験

(1) 本品の小片を試験管内で加熱するとき、刺激性の蒸気を発し、結晶性の昇華物を生じる。

(2) 本品 0.5 g をジエチルエーテル 10 mL で冷浸した液 1 mL を蒸発皿にとり、硫酸 2 ~ 3 滴を加えるとき、濃赤褐色～濃赤紫色を呈する。

純度試験 エタノール不溶物 本品 1.0 g にエタノール (95) 30 mL を加え、還流冷却器を付けて水浴上で 15 分間穏やかに煮沸し、冷後、不溶物を質量既知のガラスろ過器 (G3) を用いてろ取し、残留物をエタノール (95) 5 mL ずつで 3 回洗い、105 °C で 4 時間乾燥するとき、その量は 0.30 g 以下である。

灰分 2.0 % 以下。

酸不溶性灰分 1.0 % 以下。

歯科用アンチホルミン

Dental Antiformin

歯科用次亜塩素酸ナトリウム液

本品は定量するとき、次亜塩素酸ナトリウム (NaClO : 74.44) 3.0 ~ 6.0 w/v% を含む。

性状 本品は微淡黄緑色澄明の液で、わずかに塩素のにおいがある。

本品は光によって徐々に変化する。

確認試験

(1) 本品は赤色リトマス紙を青変した後、これを脱色する。

(2) 本品に希塩酸を加えるとき、塩素のにおいを発し、このガスは潤したヨウ化カリウムデンプン紙を青変する。

(3) 本品はナトリウム塩の定性反応 (1) を呈する。

定量法 本品 3 mL を正確に量り、ヨウ素瓶に入れ、水 50 mL、ヨウ化カリウム 2 g 及び酢酸 (31) 10 mL を加え、遊離したヨウ素を 0.1 mol/L チオ硫酸ナトリウム液で滴定する (指示薬 : デンプン試液 3 mL)。

0.1 mol/L チオ硫酸ナトリウム液 1 mL
= 3.7221 mg NaClO

貯法

保存条件 遮光して、10 °C 以下で保存する。

容器 気密容器。

アンモニア・ウイキョウ精

Foeniculated Ammonia Spirit

製法

アンモニア水	170 mL
ウイキョウ油	30 mL
エタノール	適量
全量	1000 mL

以上をとり、酒精剤の製法により製する。ただし、「アンモニア水」の代わりに強アンモニア水及び「精製水」適量を用いて製することができる。

性状 本品は微黄色～黄色澄明の液で、特異なおいがあり、味はわずかに甘く、舌をさすようである。

比重 d_4^{20} : 約 0.85

アルコール数 7.8 以上 (第 2 法)。

貯法 容器 気密容器。

イオウ・カンフルローション

Sulfur and Camphor Lotion

製法

イオウ	60 g
<i>d</i> -又は <i>dl</i> -カンフル	5 g
ヒドロキシプロピルセルロース	4 g
水酸化カルシウム	1 g
エタノール	4 mL
常水又は精製水	適量
全量	1000 mL

「ヒドロキシプロピルセルロース」に「常水」又は「精製水」200 mL を加えて溶かし、これをあらかじめ「*d*-カンフル」又は「*dl*-カンフル」を「エタノール」に溶かした後、「イオウ」を加えて研和したものに少量ずつ加えて研和する。別に「水酸化カルシウム」に「常水」又は「精製水」500 mL を加え、密栓して振り混ぜた後、静置し、この上澄液 300 mL を前の混合物に加え、更に「常水」又は「精製水」を加えて全量を 1000 mL とし、振り混ぜて製する。

性状 本品は淡黄色の懸濁液である。

本品は放置するとき、成分の一部を分離する。

確認試験

(1) 本品をよく振り混ぜ、その 5 mL に水 25 mL を加え、遠心分離する〔上澄液は (3) の試験に用いる〕。沈殿 0.02 g にピリジン 2 mL、炭酸水素ナトリウム試液 0.2 mL を加え、煮沸するとき、液は青色を呈する (イオウ)。

(2) 本品をよく振り混ぜ、その 10 mL にジエチルエーテル 5 mL を加えて振り混ぜた後、ジエチルエーテル層を分取し、脱脂綿を用いてろ過する。脱脂綿をジエチルエーテル少量で洗い、洗液はジエチルエーテル液に合わせ、水浴上で注意しながらジエチルエーテルを留去する。残留物をメタノール 1 mL に溶かし、2,4-ジニトロフェニルヒドラジン試液 1 mL を加え、水浴上で約 2 分間加熱する。冷後、水を加えて約 5 mL とし、放置した後、生成した沈殿をガラスろ過器 (G4) でろ過する。ろ過器上の残留物を洗液が無色となるまで水洗し、エタノール (95) 10 mL に溶かし、水酸化ナトリウム試液 5 mL を加え、2 分間放置するとき、液は赤色を呈する (*d*-又は *dl*-カンフル)。

(3) (1) で得た上澄液はカルシウム塩の定性反応 (2) 及び (3) を呈する。

貯法 容器 気密容器。

イオウ・サリチル酸・チアントール軟膏

Sulfur, Salicylic Acid and Thianthol Ointment

製法

イオウ	100 g
サリチル酸, 細末	30 g
チアントール	100 mL
酸化亜鉛, 微末	100 g
単軟膏又は適当な軟膏基剤	適量
全量	1000 g

以上をとり、軟膏剤の製法により製する。

性状 本品は淡黄色である。

確認試験

(1) 本品 0.5 g に水 10 mL を加え、加熱しながらよくかき混ぜ、冷後、ろ過する。ろ液 1 mL に硝酸鉄 (III) 試液 5 mL を加えるとき、液は紫色を呈する (サリチル酸)。

(2) 本品 1 g にジエチルエーテル 20 mL を加えて振り混ぜる。上澄液及び浮遊物を除き、残留物をジエチルエーテル 10 mL で洗った後、ジエチルエーテルを吸引により除く。残留物にピリジン 2 mL 及び炭酸水素ナトリウム試液 0.2 mL を加えて煮沸するとき、液は淡青色～青色を呈する (イオウ)。

(3) 本品 1 g にエタノール (95) 15 mL を加え、水浴上で加温しながらよくかき混ぜた後、冷後、ろ過し、ろ液を試料溶液とする。別にサリチル酸及びチアントール 0.01 g ずつをそれぞれエタノール (95) 5 mL に溶かし、標準溶液 (1) 及び標準溶液 (2) とする。これらの液につき、薄層クロマトグラフ法により試験を行う。試料溶液及び標準溶液 5 μ L ずつを薄層クロマトグラフ用シリカゲル (蛍光剤入り) を用いて調製した薄層板にスポットする。次にクロロホルム/アセトン/酢酸 (100) 混液 (45 : 5 : 1) を展開溶媒として約 10 cm 展開した後、薄層板を風乾する。これに紫外線 (主波長 254 nm) を照射するとき、試料溶液から得た 2 個のスポットの R_f 値は、標準溶液 (1) 及び標準溶液 (2) から得たそれぞれのスポットの R_f 値に等しい。また、この薄層板に塩化鉄 (III) 試液を均等に噴霧するとき、標準溶液 (1) から得たスポット及びそれに対応する位置の試料溶液から得たスポットは、紫色を呈する。

貯法 容器 気密容器。

イクタモール

Ichthammol

本品は定量するとき、換算した乾燥物に対し、アンモニア (NH_3 : 17.03) 2.5 % 以上、硫酸アンモニウム [(NH_4)₂ SO_4 : 132.14] 8.0 % 以下及び総イオウ [(S: 32.07) として] 10.0 % 以上を含む。

性状 本品は赤褐色～黒褐色の粘稠性のある液で、特異なおいがある。

本品は水と混和する。

本品はエタノール (95) 又はジエチルエーテルに一部溶ける。